

ミゾナシミズムシ

Cymatia apparens (Distant)

カメムシ目ミズムシ科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー 準絶滅危惧

選定理由

生息密度が低いうえに、近年、個体数がさらに減少している傾向にあり、全国的に生息地が失われつつある。県内でも局所的に分布し、生息地は1990年代に確認された2箇所のみであり、いずれも開発による影響を受けており、2000年代の確認例はない。

形態

体長5.0~5.9mm。体型はやや細長い。体色は淡褐色~淡黄褐色。頭部腹面(顔)は非常に短く、口吻(下唇)に横条を欠く。前脚跗節は扁平にならず、きわめて細長く指状で先端には顕著な爪が見られる。

国内分布

北海道、本州、四国(徳島)、九州。

県内分布

羽咋市、七尾市。

生態

ボウフラなどの水生昆虫を捕食する。6月頃に新成虫が出現する。

生息地の条件

平野部の植生の豊富な池沼、湿地、放棄水田に生息する。

生存の危機

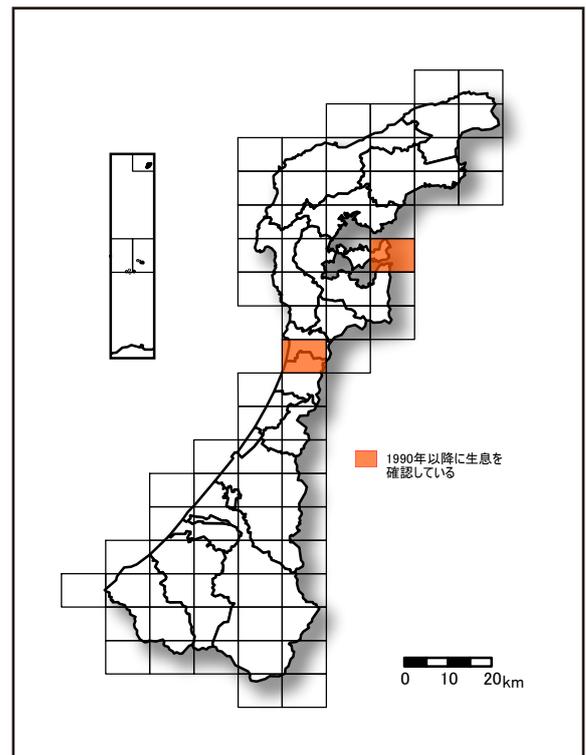
羽咋市の三日月池は平野部の抽水植物の多い河跡湖であり、一部が埋め立てられた。七尾市の放棄水田はLPGガス基地建設に伴う埋め立てによって、面積が減少した。羽咋市では生息地の保全、七尾市では生息地における耕起、湛水化などの保全対策が必要である。(A, B, C)

参考文献

林 正美・宮本正一 2005. 半翅目. 川合禎次・谷田一三(編). 日本産水生昆虫一科・属・種への検索. 東海大学出版会. 秦野.
平嶋義宏ほか 2008. 新訂原色昆虫大図鑑 第三巻. 北隆館. 東京.



標本提供者: 江口元章



県内の分布